

中央大学行政書士白門会の誕生祝賀会 (東京上野精養軒にて平成22年4月6日開催) に出席した際の寄稿文

岡山県 馬場 勉

田舎者のつぶやき

年に数回は東京へ行く。赤坂見付にあるホテルを定宿にしている。先般、4月6日に上野公園の精養軒で行政書士の会合があるとの連絡をもらった。ちょうど4月の桜の時期だから行くのもよかろうと思って参加した。東京に行ったときには上野の東京国立博物館に足を運ぶのを常にしている。夜桜のいい時だし東京へ行って刺激を受けて鋭気を養うのもよいと思った。

遠路わざわざおいで頂いてと労いの言葉を頂いたが、3時間余りで岡山から東京へは行ける。新幹線の本数も多いので旅費と時間さえあればさほどよだたない。平素は中核市の岡山でのんびり生活し、ときどき東京に気分転換を兼ねて参上するパターンは、私にとっては理想的な生活スタイルで気に入っている。

私は本業が不動産鑑定士。まちづくりの研究も総合的にやっている。行政書士は、必要に応じて行っている程度。余り真面目とはいえない状況下にあるが今後ともよろしく御厚誼の程をお願い申し上げます。